



JAL不当解雇撤回ニュース

No 084号 2011.12.01
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

差別や首切り自由の社会をなくそう！

11・25全労連・MIC・東京地評争議支援総行動に参加



313名が集結した厚労省前の行動

日本航空前の訴えから

終日行動の最後は、JAL 本社前。61 団体より約 280 名の方に参加者していただきました。

<通信産業労組 宇佐美委員長>

長年会社に貢献してきた人材の首を切り、家族の生活権を剥奪する傲慢な経営は断じて許されません。全国で支えた大きな闘いは必ず勝利する。

<東京争議団 小関議長>

JAL の解雇ほど本質が鮮明な事件はない。一人の首切りも一切の差別も許さない、その一点での共同の闘いを共に進めようではありませんか。

<MIC 東海林委員長>

労働者の尊厳を踏みにじって、大晦日に首切りをした労働者に謝罪し、空の現場に戻ってもらうことで、



11 月 25 日、全労連・日本マスコミ文化情報会議(MIC)・東京地方労働評議会主催の、争議支援総行動が行われ、34 の争議団体と支援団体が参加しました。JAL の原告団も他の争議団や支援団体の方たちと共に、7コースに分かれて、ソニー・明治乳業・日本赤十字社など約 30 社を回り、抗議と要請を行いました。

社保庁の職員 525 名を分限免職(解雇)した厚労省前と日本航空本社前には参加者が一同に結集し、不当な解雇に抗議し撤回を求めました。



夕暮れに約280名が集結した JAL の本社前

初めて国民に「安全に配慮した企業」と、納得してもらえ。それが社会的責任です。

解雇規制のない日本は異常 安心して働けるような社会にしよう

原告団の決意表明に力のこもったシュプレヒコール

決意表明に立った山口原告団長。山口団長は『稲盛会長は『社員の物心両面の幸福』を追求すると言うが、自分の『物心両面の幸福』は京セラからは 8 億円の配当、株売却で 3 億円の節税などと大変熱心だが、社員に対してはリストラを断行し首まで切った』『本当に異常な解雇だ』『解雇規制のない日本が異常。安心して働ける社会を実現するために、必ず不当解雇を撤回する』と、決意を表明。

不当解雇撤回の要請に、対応した総務の職員は、社屋への立ち入りを拒否し入口で受け取り、「上司に伝える」との対応。最後に、蛍光リングをつけたこぶしを突き上げ、参加者全員で不当解雇の撤回の決意を込め、力強いシュプレヒコールで行動を閉めました。